



公立諏訪東京理科大学
Suwa University of Science

MY UNIVERSITY DAYS



希望の進路をつかんだ
一期生 5 人のストーリー

MY FUTURE





好きなことに夢中になった日々。 その積み重ねが未来のワタシに つながっていく。

公立諏訪東京理科大学は2022年3月、
公立化後はじめての卒業生を送り出します。
それぞれの未来を見つけ、新しいスタートラインに立った一期生たち。

その4年間には、どんな体験や成長があったのでしょうか。
一期生5人のエピソードから、その軌跡を感じてみてください。
そして、この5人に続くのは、これを読んでいるあなた。

ぜひ、公立諏訪東京理科大学で、
好きなこと・夢中になれることに出会い
自分を磨き、あなたらしい未来を拓いてください。

INTERVIEW

1

阿部 泰希さん

情報応用工学科 4年

内定先

日本ユニシス株式会社

2022年4月1日付でBIPROGY株式会社に社名変更

多彩な経験を積み重ねた
充実した4年間でした。

MY UNIVERSITY DAYS

いま僕がいる写真の場所は、どこかわかりますか？そう、大学の図書館です。専門書もたくさん揃っていて、レポート課題の資料探しでは大変お世話になっています。そして、僕にとってはそれ以外にもお世話になっていることが…。じつはこの図書館で学内アルバイトをやらせていただいています。僕の大学生活は、すごく飛び抜けたものではありませんが、学業から課外活動、インターンシップ、そしてこのアルバイトまで、どの面においてもオールマイティに一定の成果を出すことができ、とても充実していました。とくにプログラミングに関しては、入学時はまったく経験がありませんでしたが、授業で取り組んでいるうちにすっかりトリコに。研究室では音楽を楽譜に自動で書き起こす機械学習について研究し、プログラミングの技術もさらに鍛えられました。入学当初は、「理系＝大学院に行く」というイメージを持っていたため、就職のことは考えていませんでしたが、学んでいくうちに早く社会に出て大学で身につけた力を試してみたいと考えようになりました。社会を知り、就職活動に慣れるために積極的にインターン

シップや企業説明会などに参加。採用選考を経て、とある企業から内定をいただき満足していましたが、キャリアセンターの職員の方や研究室の先生から「もっと大きな企業も目指せるはず」と背中を押され、さらなる挑戦を決意。その結果、行けるとは思ってもいなかった企業から内定をいただくことができました。アドバイスをくれた方々にとても感謝しています。いまは、自分で限界を決めず、挑戦してみるものの大切さを実感しています。



2年生の3月から始めた大学図書館でのアルバイト。情報発信のWEB化・デジタル化を進めるなど業務の改善にも力を入れました！

MY FUTURE

大学で身につけたAIや機械学習の知識と技術をもっと磨いて、地域の課題解決にも取り組みたい！



INTERVIEW

2

久保田 紘生さん
情報応用工学科 4年

内定先

アクセント株式会社

コンテストへの挑戦が、
大きな自信になりました。

MY UNIVERSITY DAYS

思わず心の中でガッツポーズしました。学内で開催された「AIコンテスト2020」に挑戦したときのこと。河川の水位を予測するプログラムを作成して正確さを競い合ったのですが、僕たちのチームが最優秀賞をいただくことができました。正直言って自信はありましたが、まさかそれが現実になるとは…。僕は3年生になると、就職活動を見据えて自己アピールできる実績や経験づくりに努めました。先のコンテストもそのひとつ。ほかには、実践と遊びを兼ねて個人的にアプリを開発。ジャンケンをベースにした簡単なゲームでしたが、いい勉強になりました。さらに、経済産業省が進めるAI人材育成プログラム「AI Quest 2020」にも参加。実際の企業が抱える課題解決に取り組み、実践的な力を磨くことができました。学生のほかに社会人の方も多数参加しており、いい刺激を受けるとともに、チームでプロジェクトを進めていく楽しさや重要性を実感しました。大学での4年間、いろいろなチャレンジを重ねてきましたが、就職活動でも積極的に動きました。インターンシップや企業マッチングイベントなどの就活イベントでは、同じ職種をめざす

学生と関わる機会が多くあり、優秀な学生の姿を見て自分の就職活動の参考にしました。たとえば、KaggleなどのAIコンペティションに参加して実績をアピールしたこともそのひとつ。結果だけではなく、「チャレンジした」という事実も評価してもらえたのではないかと感じています。こうして内定をいただくことができましたが、社会に出てからも、プロとして求められる知識と技術を高めるため、まだまだ挑戦を続けていきます。



研究室は僕の原点。指導教員の山田先生のご指導や先輩のアドバイスでAIやデータサイエンスの知識・技術が飛躍的に向上しました！

MY FUTURE

さまざまなお客様の要望にしっかり応えられる
AIアーキテクトのスペシャリストをめざしています！



INTERVIEW

3

熊谷 駿佑さん

機械電気工学科 4年

内定先

セイコーエプソン株式会社

部活の復活や太陽電池の研究など、
つねに全力で取り組みました。

MY UNIVERSITY DAYS

皆さんも大学に入ったら、なにかひとつでいいので「これこそ!」と思えることを成し遂げてほしいと思います。研究でもいいですし、そのほかのことでOK。そういう僕が成し遂げたのが、休眠中の弓道部を復活させたこと。高校のときから弓道部に入っていて、大学でも続けたいと思っていたのですが、実際に入部してみたらほぼ休眠状態。そこで一念発起して弓道部を再始動させました。学生弓道連盟に加入の手続きをしたり、大会への出場申請をしたりいろいろ大変でしたが、先輩や同期部員たちの協力もあり無事に復活を果たすことができました。そんなチャレンジ精神を、就職活動でも発揮。研究室では窓に貼ったりビニールハウスで利用できる有機薄膜太陽電池の開発に取り組んでいます。たまたまその発電部分に使用していたインクジェットが、志望していた企業の製品。まさに奇跡。運命に導かれるようにエントリーし、無事内定をいただくことができました。実は、僕の就職活動のスタートは周囲に比べ遅め。3年生の1月には、エントリーシートを書いたり、面接を受けてきたという人たちが増えてきてかなり焦りました。でも、

研究室の先生に相談してみると、「本来就職活動が解禁するのは3月からだからそんなに焦らなくていい。準備不足で受けても難しいと思うよ」というアドバイスをいただき、早期選考は見送ることに。それからは、先輩社員さんたちの話を聞くために、企業側が開催する座談会に積極的に参加するなど、万全の準備を整えて採用選考に挑みました。振り返ってみると、自分を見つめ直す時間をつくれたことも、良い経験だったと感じています。



高校から打ち込んでいた弓道
を続けた一心で部を再興。仲間
と勝ち取った地元大会での優勝
も忘れられない思い出です。



大学で学んだ電気や機械の技術を活かして、
さまざまな分野に挑戦する楽しさを味わいたい!

MY FUTURE

INTERVIEW

4

村上 陽音さん

情報応用工学科 4年

内定先

MUTOHホールディングス株式会社



興味のあるARやVRを
とことん追究しました。

MY UNIVERSITY DAYS

これを読んでいる皆さんの中には、ARやVRに興味がある人も多いのでは？私も高校生の頃、そんなひとりでした。だから、迷わずいまの学科に進学。現在、研究室で取り組んでいるのが、諏訪大社に昔あった神宮寺という建物をARで再現するプロジェクト。「上社周辺まちづくり協議会」の要請で開発を進めているもので、完成すれば観光客が現地でタブレットを使って映像を楽しめるようになります。自分で言うのもなんですが、すごいプロジェクトですね。参加することができて、とてもやりがいを感じています。そろそろ完成が見えてきましたが、これまですべてが順調というわけではありません。プログラムがうまくいかないときもあり、そんなときは持ち前の粘り強さで切り抜けてきました。そんな諦めない気持ちこそ、私の長所。ゲスト企画局長を務めた大学祭実行委員会では、売れ残ったイベントのチケットを粘り続け、ついに目標枚数を売り切ったこともありました。いまでは楽しい思い出のひとつです。就職活動でも、もちろんそんな粘り強さを発揮。時間をかけてエントリーシートを書いても落とされることがありまし

たが、根気強くいくつも書き続けました。また、自己分析も徹底的にやりました。自分を理解することで、自分が本当にやりたいことや自分に合った企業をとことん追求。その結果、ついに志望していた企業から内定をいただくことができました。人と話すことが少し苦手な性格でしたが、インターンシップや企業説明会などに参加するうちにたくさんの人と話せるようになり、就職活動は自分を成長させるきっかけにもなりました。



大学祭実行委員会ではゲスト企画局長に。ゲストの出演交渉や協賛企業訪問に奔走した経験は、就職活動にもすごく役立ちました！



在学中に身につけた画像処理の技術を活かして、
未来のプリンタづくりにチャレンジしてみたい！

MY FUTURE

INTERVIEW

5

中島 龍希さん

機械電気工学科 4年

内定先

株式会社 NTT ドコモ



ソフトボール部の立ち上げに
全力投球しました。

MY UNIVERSITY DAYS

キャッチボールをしている僕の写真を見て、「その球はソフトボール!？」と気づいた人はスルドイ!僕は4年間の在学中に何か記念に残るようなことをしてみたいと思い、高校のときからやっていたソフトボール部をつくることを決意。入学直後からさっそく行動を起こしました。もちろんそれなりに苦労もありました。部員集めでは野球経験のある学生に片っ端から声をかけましたし、バットやボールを購入する部費の確保も容易ではありませんでした。でも、集まった部員たちの助けもあり、部活動としてのカタチも徐々に完成。いまでは全国大会に出場するまでになりました。部の創設は大変なことだけでなく、僕自身の成長にも大きく役立ちました。仲間を引っ張っていくリーダーシップの在り方や、人やお金の動かし方なども学ぶことができ、社会に出たときもきっと役立つと感じています。こんな僕ならではの経験は採用選考の面接でも話させていただきました。もちろん手応え十分。人事の方に興味をもていただき、会話もスムーズにいきました。また、ふだん実験で行っている「仮説→実験→考察→再実験」の流れは、ビジネスにおける

PDCAサイクルと重なっていて、インターンシップで企画系の仕事をする際にも他の学生より企画を上手く進めることができました。面接でもこの考え方に沿って話すことで、より自分を理解してもらうことができたと思います。内定先の企業にはビジネス職として採用されました。自分の「人」としてのポテンシャルを存分に活かして活躍していきたいです。



プレーでもチームを引っ張りました。僕なりのリーダーシップを見出すこともでき、仲間と過ごした4年間は最高の時間でした!

MY FUTURE

エンジニアの気持ちがわかる存在として、
営業とエンジニアの橋渡し役として活躍していきたいです!





公立諏訪東京理科大学
Suwa University of Science

情報応用工学科

知能・情報・通信コース
社会情報システムコース

機械電気工学科

電気電子コース
先進機械コース

〒391-0292 長野県茅野市豊平 5000-1

tel.0266-73-1201 fax.0266-73-1230

